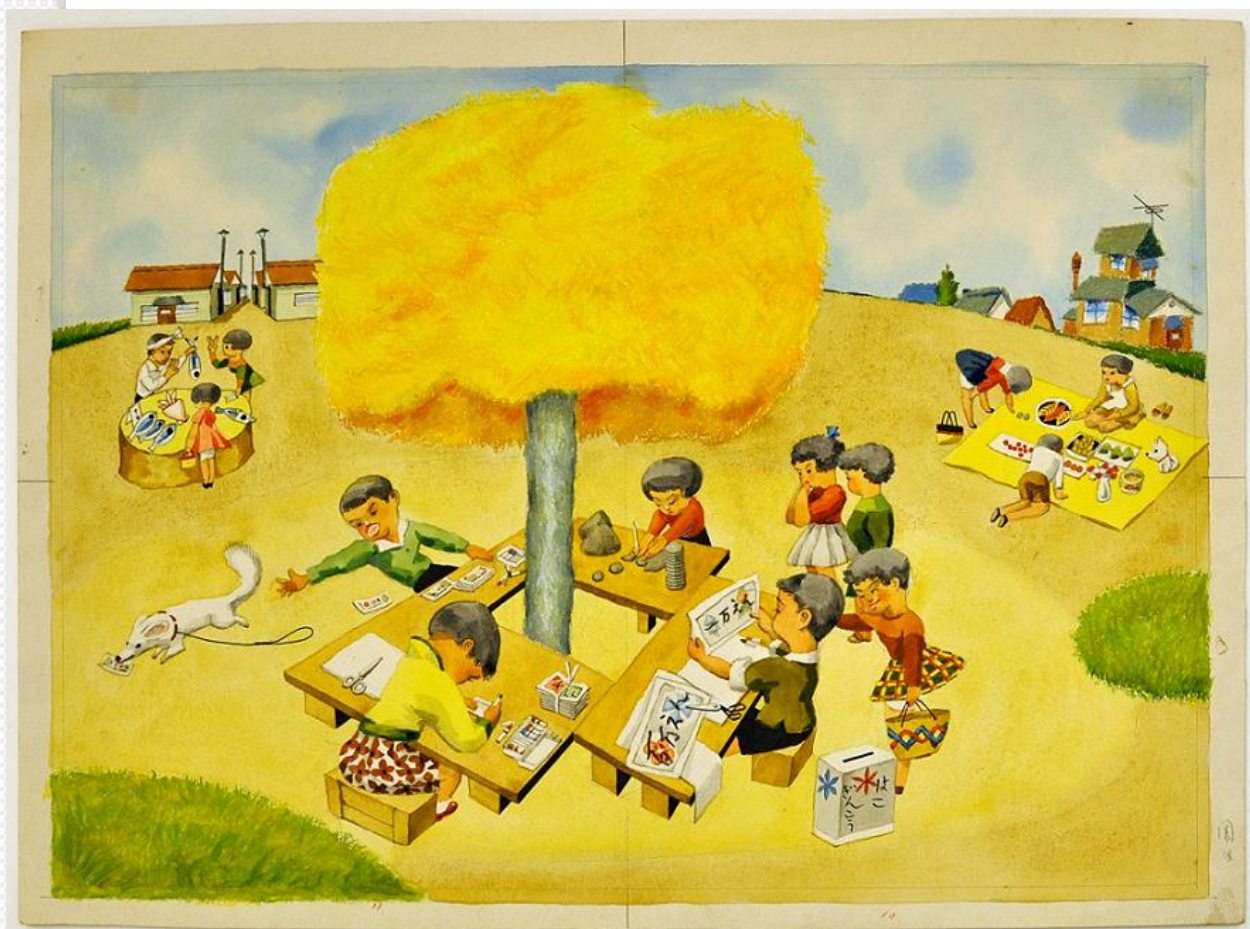


「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」 の実現に向けて

～平成26年度予算概要～（わかりやすい予算説明書）

武井武雄生誕120年



『ことり第6巻』 制作1961年 武井武雄

長野県 岡谷市

平成26年度予算概要

「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」の実現に向けて ～未来に伸びゆく 元気・活力創造予算～

市民のみなさまにおかれましては、岡谷市発展のため、それぞれのお立場で、また、さまざまな場面で、まちづくりにご参加・ご協力をいただいておりますことに、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、岡谷市にとりまして平成26年度は、第4次岡谷市総合計画・後期基本計画の初年度として、前期基本計画で実施してきた施策の成果を踏まえ、第4次岡谷市総合計画に掲げた将来都市像であります、「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」の実現と、後期基本計画に掲げた目標の達成に向けてスタートする大変重要な年となっております。

そのため、第4次岡谷市総合計画に掲げた基本目標であります、

- 1 魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち
- 2 ともに支えあい、健やかに暮らせるまち
- 3 自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち
- 4 生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち
- 5 快適に生活できる、都市機能の充実したまち

を基本的な「柱」として予算編成を行いました。また、重点施策としましては、「たくましい産業の創造」、「輝く子どもの育成」に加え、新たに「安全・安心の伸展」を後期重点プロジェクトの一つとして掲げ、事業の着実な推進と、安定した財政基盤との両立を図りながら、市民のみなさまが安全・安心で生きがいを持った生活を送り、明日に夢と希望が持てる施策を、市民のみなさまと行政との協働により展開してまいりたいと考えております。

景気は回復基調にあるとされておりますが、岡谷市をはじめとした地方を取り巻く社会経済情勢においては、いまだ景気回復が感じられない状況にあるものと考えております。このような中ではありますが、重要施策として掲げております、新病院や新消防庁舎などの整備を着実に推進するとともに、産業振興・子育て支援・高齢者福祉などの各種施策に積極的に取り組み、岡谷市ならではの特色あるまちづくりと、市民誰もが将来にわたり快適で、輝きに満ちた生活を送ることができるまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

市民のみなさまにはまちづくりへの積極的なご参加をいただきますよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



岡谷市長 今井 竜五



～目次～

予算の基礎知識・・・・・・・・・・・・・・・・	1
一般会計予算の状況・・・・・・・・・・・・	3
平成26年度予算の 5つの基本目標と主な事業・・・・・・・・	8
6つの重要施策の進捗状況・・・・・・・・	25
岡谷市のあれこれ (岡谷市の基礎知識)・・・・・・・・・・・・	26
岡谷市土地開発公社の 抜本的改革について・・・・・・・・・・・・	27
参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	28
組織・窓口のご案内・・・・・・・・・・・・	30



予算の基礎知識 Q&A

Q. そもそも「予算」ってなあに？

A. 予算とは、1年間（4月から翌年3月まで）の収入と支出を前もって見積もることです。

新しい年度が始まる前に、1年間にどのくらいの収入（入ってくるお金）があるのか、また行政サービスをどのように行うのかを計画し、そのために使うお金（支出）がどのくらい必要なのかを見積もります。これらの内容をまとめたものが予算書です。

なお、市の予算においては、収入のことを歳入、支出のことを歳出といいます。

Q. どうやって岡谷市の予算を決めるの？

A. 市長が予算案を作り、市議会の審議と議決によって成立します。

岡谷市役所のそれぞれの担当部署は、市民のみなさまの意見や要望を聞き、「1年間の行政サービス」を検討します。その後担当部署の案について庁内全体で協議・検討を重ねたうえで市長が予算案をまとめ、市議会に提出します。

市民を代表する市議会は、提出された予算案を事業内容や実施体制などの様々な面から審議したうえで議決（議会の意思決定）をします。

Q. 一度決めた予算は変わることはないの？

A. 変わることがあります。それを補正予算といいます。

市議会で決定した予算から事業を実施するうえで、予算を見積もるときに予測できなかったことが起きることがあります。例えば、台風や豪雨などの自然災害などにより、緊急にお金を使わなくてはならないときは、予算を変える必要があります。このような場合にも、市長が変更する予算案をつくり、最初の予算と同じように市議会へ提出します。この予算のことを「補正予算」といいます。

Q. 予算はなんのために必要なの？

A. 行政サービスを計画的に行うために、予算が必要です。

予算は、歳入と歳出の見積もりとその計画です。1年間の行政サービスを計画的に行うために予算を作成することが必要になります。

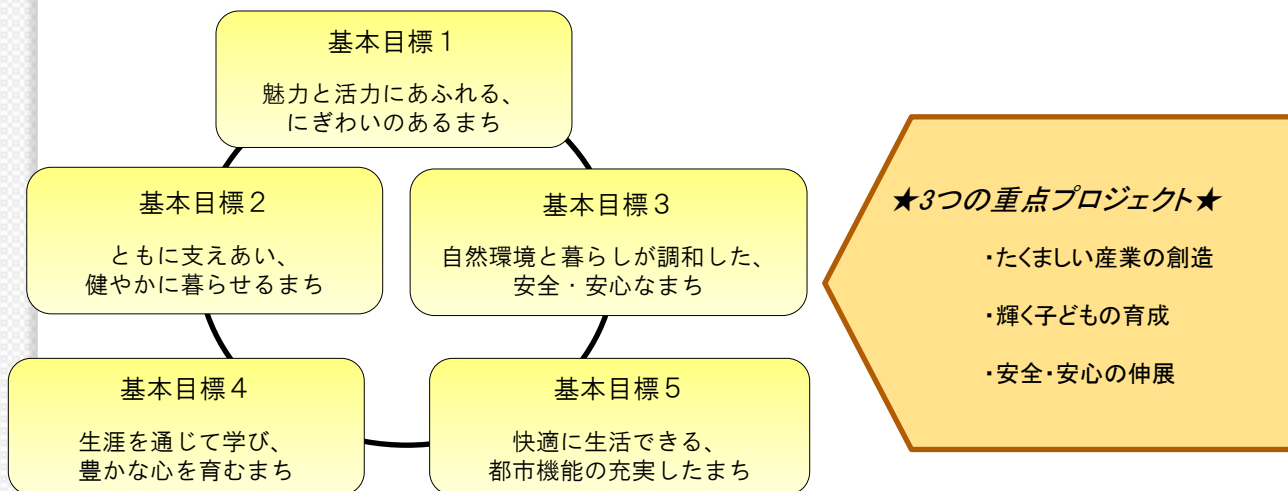
また、予算の範囲内において執行しなくてはならないことから、前もって行政サービスの計画とそれに見合った予算の作成が必要になるのです。

Q. 何を目標として予算を作るの？

A. 総合計画で定めた基本目標を達成するため、予算を作成します。

平成26年度は、第4次岡谷市総合計画・後期基本計画の初年度となります。この総合計画に掲げた5つの基本目標を達成するため、3つの重点プロジェクトを掲げ予算を作成しました。

第4次岡谷市総合計画におけるおかやの将来都市像 「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」



Q. 平成26年度の岡谷市の予算規模は？

A. 一般会計：213億5,200万円（前年度比 2億6,200万円増）
特別会計：65億1,080万円（前年度比 2億2,810万円増）
企業会計：214億1,870万1千円（前年度比 87億9,852万6千円増）

【一般会計：213億5,200万円】

教育・福祉や道路、公園の整備など市の基礎的な行政サービスを行うための会計です。主な収入は、市税、地方交付税、国・県支出金などです。

【特別会計：65億1,080万円】

特定の目的のための会計で、国民健康保険税など特定の収入があり、一般会計と切り離して、その収入・支出を経理する会計です。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| ・国民健康保険事業特別会計：50億6,660万円 | ・地域開発事業特別会計：6億2,690万円 |
| ・分収造林事業特別会計：2,340万円 | ・霊園事業特別会計：1,470万円 |
| ・温泉事業特別会計：1,970万円 | ・訪問看護事業特別会計：4,060万円 |
| ・後期高齢者医療事業特別会計：7億1,200万円 | ・湊財産区一般会計：690万円 |

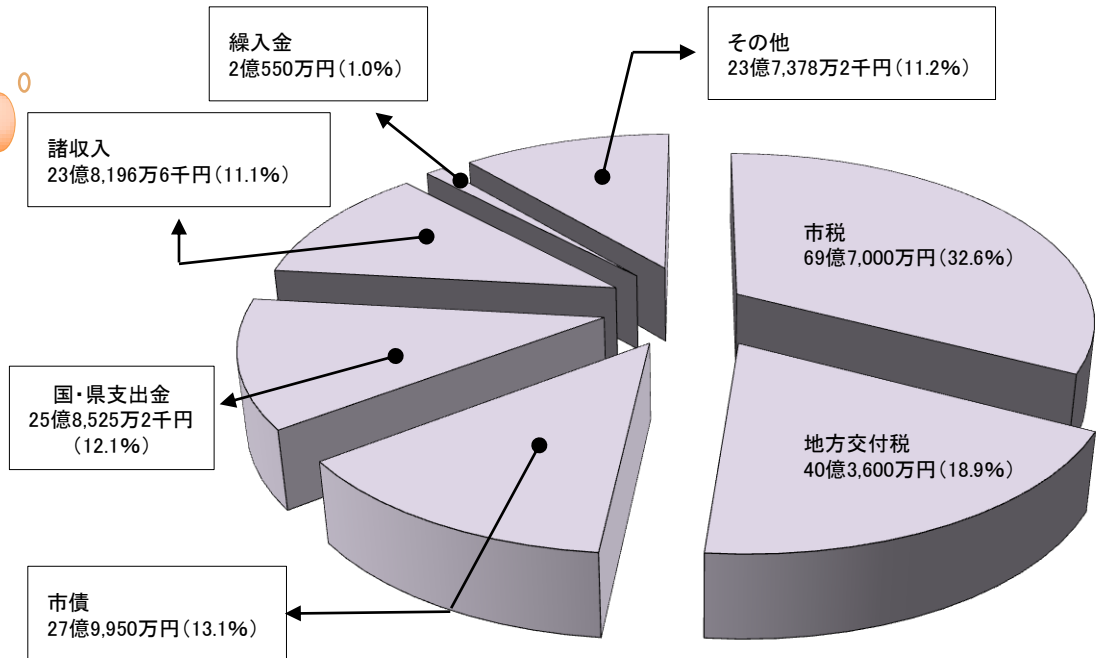
【企業会計：214億1,870万1千円】

岡谷市には、水道事業会計、下水道事業会計、病院事業会計の3つの企業会計があります。民間企業と同じように、事業で収益をあげて運営しています。

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| ・水道事業会計：13億135万9千円 | ・下水道事業会計：30億6,283万円 |
| ・病院事業会計：170億5,451万2千円 | |

一般会計予算の状況

歳入予算 213億5,200万円



市 税	市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など	
地方交付税	全国で一定の行政サービスが行えるよう国から交付されるお金	
市 債	公共施設の整備に伴い金融機関から借りるお金	
国・県支出金	国・県から特定の事業のために交付される補助金など	
諸 収 入	他の科目に分類されない収入で、延滞金や実費徴収金など	
繰 入 金	市が積み立てた基金（貯金）を取り崩してまちづくりに使うお金	
そ の 他	使用料及び手数料	公共施設の使用料や、住民票などの発行手数料
	地方消費税交付金	消費税のうち人口などの状況により国から交付されるお金
	分担金及び負担金	事業に係る経費の一部を受益の程度に応じ負担していただくお金
	財産収入	財産の貸付け、売り払いなどにより得るお金

～市税収入の状況～



歳入の30%以上を占める市税については、平成25年度予算と比較すると1億8,400万円の増ではありますが、平成21年度予算と比較すると6億5,600万円も減少しています。

景気は回復傾向にあると言われてはいますが、まだまだみなさまの生活で実感できるところまでは至っていないようです。

歳入予算を、一般家庭の家計簿に例えると…

岡谷市の平成26年度の一般会計予算は、213億5,200万円ですが、数字が大きすぎてなかなか実感できません。そこで、一般家庭の1か月の家計簿に例えてみました。

0 平成26年度一般会計予算
213億5,200万円

市税	69億7,000万円
諸収入	23億8,197万円
その他	23億7,378万円
地方交付税	40億3,600万円
国・県支出金	25億8,525万円
繰入金	2億550万円
市債	27億9,950万円

1か月の収入が20万円の
一般家庭の家計簿

給料	65,287円
諸手当等	44,546円
親からの仕送り等	62,020円
貯金の取崩し	1,925円
金融機関からの借入	26,222円



5年前（平成21年度当初予算）の家計簿は？



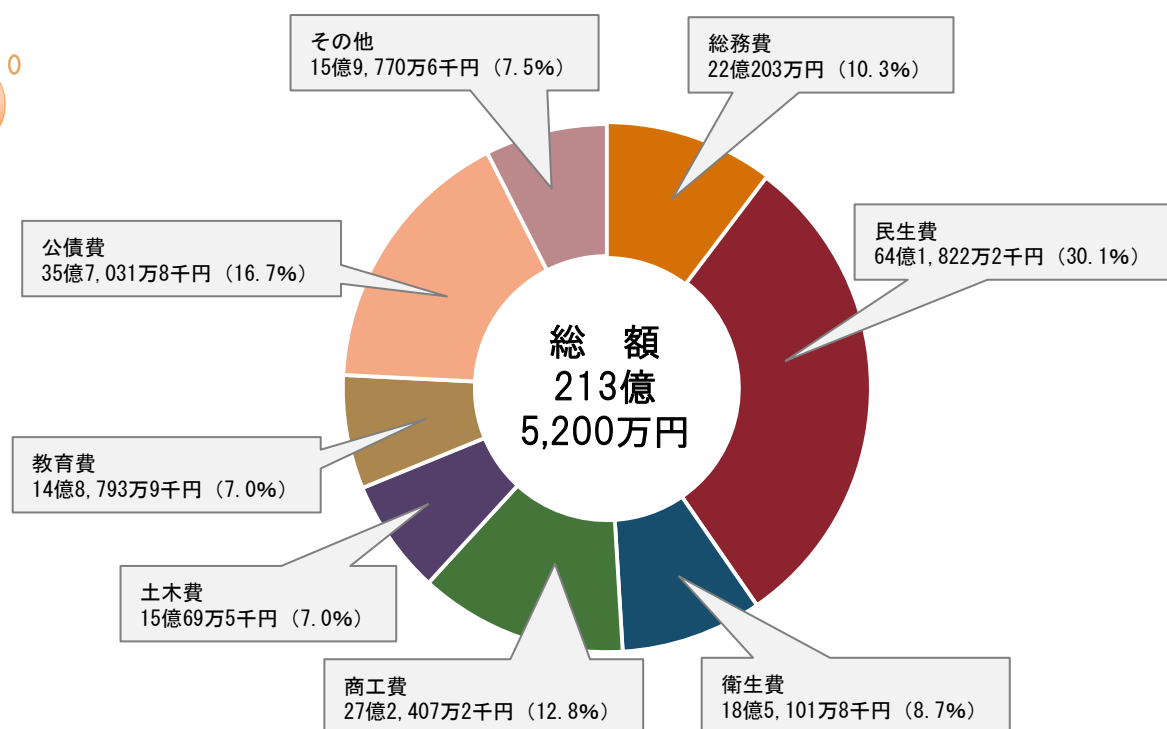
特徴…

給料（市税）が減って、親からの仕送り（国・県支出金、地方交付税）に頼るところが大きく、施設整備などで金融機関からの借入（市債）も増えています。今後は、給料の増（各種事業の展開による経済の活性化）や支出の減（行財政改革）など、支出に占める給料の比率を増やしていくための工夫が必要です。

また、貯金の取崩しを減らしてきていますが、残高が減っており、将来に向けた積立も考えていかなくてはなりません。

給料	81,448円
諸手当等	43,279円
親からの仕送り等	49,217円
貯金の取崩し	8,165円
金融機関からの借入	17,891円

歳出予算 213億5,200万円



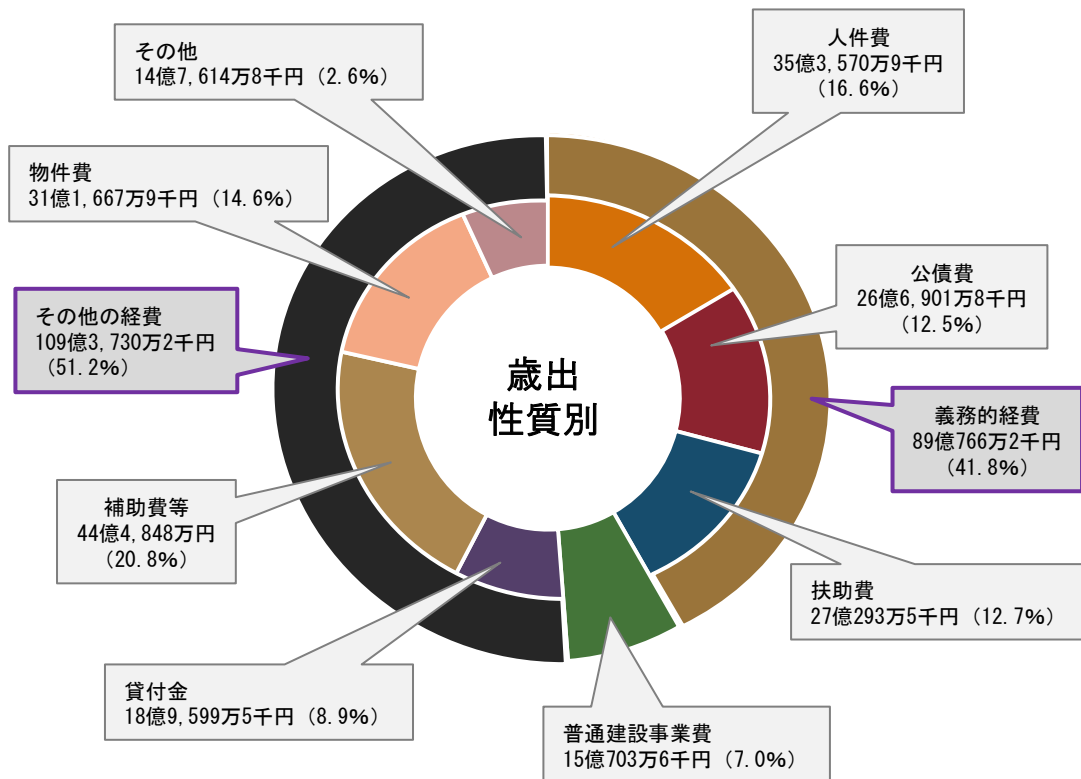
限られた財源（収入）の中で事業の選択と集中を進め、「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」の実現に向け、最も効果的な事業に予算を配分しました。

民生費（輝く子どもの育成）、商工費（たくましい産業の創造）が大きなウェイトを占めています。

総務費	市の運営や税金の賦課徴収、戸籍住民票の管理などにお金	
民生費	障害者や高齢者、子育てなどにお金	
衛生費	保健や環境・衛生の向上、病院への繰出金などにお金	
商工費	工業や商業、観光の振興にお金	
土木費	道路や橋、公園、市営住宅などにお金	
教育費	小中学校、図書館、体育館などの管理運営にお金	
公債費	市債（借金）の返済にお金	
その他	議会費	市議会の運営にお金
	労働費	雇用の促進や勤労者の福祉にお金
	農林水産費	農業、林業などの振興・管理・整備にお金
	消防費	消防や救急、消防団の活動などにお金
	予備費	自然災害など緊急な対応が必要になったときにお金

歳出の性質別内訳は次のようになっています。

歳出を経済的な性質を基準にして分類したものが、次のグラフです。
この分類は、全国のどこの市町村も同じ基準で分類しています。



人件費と公債費、扶助費を合計したものが「義務的経費」と呼ばれています。これは支出が義務的な要素を持っているからです。

「普通建設事業費」は、投資的経費と呼ばれ、支出の効果が資本形成につながり、資産として将来に残るものです。それ以外は「その他の経費」と呼ばれ、以上の3つに分類されています。

人件費	市長や議員などの特別職と一般職員に支払われる報酬や給料	
公債費	市債の返済に使う経費	
扶助費	高齢者や障害者等の施設入所や生活保護などの福祉的な経費	
普通建設事業費	道路や学校などの建設事業に使う経費	
貸付金	預託金など直接現金の貸付けを行うための経費	
補助費等	各種団体などへの補助金や負担金	
物件費	事務に必要な経費や光熱水費、委託料など	
その他	維持補修費	道路や施設の修繕、維持に使う経費
	積立金	基金（貯金）に積立てを行うための経費
	繰出金	他の会計へ支出するための経費
	予備費	自然災害など緊急な対応が必要になったときに使う経費

歳出予算を、**市民ひとりあたり**で計算すると…

岡谷市の平成26年度の一般会計予算は、213億5,200万円ですが、市民ひとりあたりに対する行政サービスの経費を計算してみました。



平成26年度の一般会計予算、213億5,200万円を人口（51,340人）で割ると、市民ひとりあたり、415,900円の行政サービスを受けている計算になります。

一方、これに対して平成26年度の市税69億7,000万円を同様に人口で割ると、市民ひとりあたり約135,800円の負担をいただいていることとなります。



<p>市議会の運営経費</p>  <p>3,800円</p>	<p>市役所などの運営</p>  <p>49,400円 (6,500円)</p>	<p>福祉・子育てに</p>  <p>132,000円 (7,000円)</p>
<p>環境衛生の向上に</p>  <p>36,700円 (600円)</p>	<p>雇用の確保・拡大</p>  <p>2,100円</p>	<p>農業などの振興に</p>  <p>3,200円 (200円)</p>
<p>産業振興の充実に</p>  <p>53,900円 (800円)</p>	<p>道路などまちづくり</p>  <p>46,900円 (17,700円)</p>	<p>消防・救急体制に</p>  <p>21,400円 (200円)</p>
<p>教育の充実に</p>  <p>34,000円 (5,000円)</p>	<p>借金の返済に</p>  <p>31,500円 ※各目的に分類されない、 その他の財源補てん的な 市債の返済</p>	<p>緊急時の備えとして</p>  <p>1,000円</p>

※ () 内市債（借金）の返済額

魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち

岡谷市の基幹産業である製造業を軸とした「産業振興施策の推進」を最重要課題として、企業誘致に向けた取り組みをはじめ、既存企業の活性化や雇用の維持・拡大を進めます。また、工業のみならず、商業・観光・農林業など産業全般にわたり多くの施策を展開し、就労の確保と人口の減少に歯止めをかけることにより、担税力を高め、強い財政基盤と活力のあるまちづくりを推進します。



【拡充】

首都圏産業振興活動事業



担当課 産業振興戦略室

事業費		7,282千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	7,282千円

平成23年度から実施してきた活動で得たノウハウを活かすとともに、新たに中小企業庁、関東経済産業局、長野県東京事務所への職員派遣により国及び県との連携を深めながら、企業誘致及び受注開拓を推進します。

← 【新規・拡充】事業名

← 担当課

← 事業に係る経費

事業に係る財源

補助金 …国や県などからの補助金
借入 …市債（借金）
使用料等…使用者からの利用料等
市 …市が負担する額

事業の概要

【拡充】中小企業融資制度



担当課 工業振興課

事業費		1,984,813千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	1,984,813千円

中小企業に対して保証料補助などにより返済負担の軽減や小規模企業に対する利子補給の継続などを行い、市内企業の経営の安定化を図ります。

平成26年度は「おかや地球にやさしい環境づくり資金」の保証料補助を1/2から全額補助に増額し、支援の充実を図ります。

【拡充】

新技術・新製品等ものづくり チャレンジ企業応援事業



担当課 工業振興課

事業費		13,700千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	13,700千円

市内企業が単独または企業グループで新技術・新製品の開発を行う場合に、開発等に係る経費に対して助成を行い、企業の競争力の強化と新たな事業の創出を図ります。

平成26年度は、従業員10名未満の企業を対象とした「開発試作枠」の限度額を増額し、製造業のまち岡谷を支える小規模企業の支援充実を図ります。

1 魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち

岡谷市の産業振興を考える懇談会事業

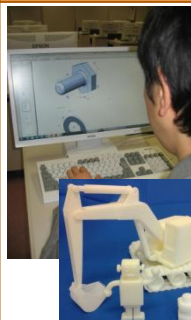


担当課 産業振興戦略室

事業費		511千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	511千円

都市圏の企業で活躍する岡谷市出身の会社役員や、都市圏に本社があり岡谷市にも拠点がある企業経営者と情報交換を行い、産業振興の推進を図ります。

【新規】3Dプリンタ利用促進事業



担当課 産業振興課

事業費		619千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	108千円
	市	511千円

飛躍的に進化を続ける3Dプリンタが市内企業に与える影響について、最新の技術を用いたセミナー等の開催により技術取得の支援を行うなど、今後の方向性を探るための機会の創出を図ります。

【新規】経済活性化講演会事業



担当課 産業振興戦略室

事業費		300千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	300千円

岡谷市、岡谷商工会議所、金融機関との連携により、国立大学法人東京工業大学教授、池上彰氏による経済講演会を開催し、地域産業の活性化につなげます。

商工業振興条例補助金

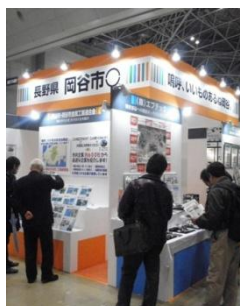


担当課 産業振興戦略室

事業費		98,990千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	98,990千円

工場移転・新築等に対し、必要な助成を行い、企業の事業拡大や立地促進による商工業の振興、発展を図ります。

展示会出展事業



担当課 産業振興課

事業費		5,181千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	2,209千円
	市	2,972千円

市が展示ブースを確保し、個人企業や中小企業の製品を共同展示することにより市内企業の新規受注の確保を図ります。



企業誘致や新分野への参入をはじめ、創業・起業支援のための事業を展開するほか、いまだ景気回復が感じられない状況にある既存企業の活性化を図るため、さまざまな事業を展開していきます。

魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち

商業活性化補助金



担当課		商業観光課	
事業費		6,330千円	
財源	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市	6,330千円	

既存店舗の改修、空き店舗の改修及び賃借料の助成を行い、まちなかの賑わい創出と商店街の活性化を図ります。

産業観光推進事業



担当課		商業観光課	
事業費		400千円	
財源	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市	400千円	

産業観光を受け入れる事業所に対して、必要な経費を助成するとともに、塩嶺王城観光開発協議会が実施する産業観光ツアーに対する経費を負担し、観光産業の振興を図ります。

製糸関連施設整備事業



担当課		ブランド推進室	
事業費		96,310千円	
財源	補助金		
	借入	86,600千円	
	使用料等		
	市	9,710千円	

旧農業生物資源研究所に市立岡谷蚕糸博物館等に移転整備し、養蚕、製糸業により育まれた文化、歴史、先人たちの偉業を全国へ発信し、後世に伝承するとともに、新たなシルク文化を生み出す「岡谷ブランド」の拠点施設として整備します。

【新規】

蚕糸博物館開館記念事業



担当課		ブランド推進室	
事業費		2,000千円	
財源	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市	2,000千円	

新市立岡谷蚕糸博物館の開館を記念し、式典の開催やグッズの制作、特別企画展や記念講演会などを開催します。

商業や観光の振興は、まちの活気や賑わいを創り出す重要なポイントです。より多くの方が岡谷を訪れ、またより多くの方に市内の店舗を利用してもらえるよう、事業を展開していきます。



鳥獣被害軽減対策事業



担当課 農林水産課

事業費		4,916千円
財源	補助金	1,183千円
	借入	
	使用料等	677千円
	市	3,056千円

個体数調整のため、檻、わな、銃器による駆除を継続するとともに、新たにニホンジカの駆除にあたり「捕獲実施隊」を編成し、駆除事業の一層の推進と鳥獣被害の軽減を図ります。

農道水路整備事業



担当課 農林水産課

事業費		3,684千円
財源	補助金	
	借入	900千円
	使用料等	
	市	2,784千円

老朽化が進んでいる農業用水路及びポンプを順次整備(更新)し、安定的な農業用水の供給を行います。今年度は、鮎沢地区水路整備工事と、国道142号線バイパスポンプの更新工事を行います。

【新規】

いきいきマイファーム事業



担当課 農林水産課

事業費		528千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	108千円
	市	420千円

定年退職者や余暇を活用したい人を対象に、農業の研修を開催し、担い手の育成、拡大につなげるとともに、遊休農地の解消、地産地消の推進を図るほか、県外から岡谷市へ移住を希望する方を対象とした「体験農園コース」を新たに設け、農業を通じた移住の推進を図ります。

農道水路維持補修事業



担当課 農林水産課

事業費		4,500千円
財源	補助金	
	借入	2,600千円
	使用料等	
	市	1,900千円

農業用水路の計画的な補修により、安定的な農業用水の供給を行います。

平成26年度は、東堀汐のほか2カ所の汐の補修を行います。

農地や山林は、食糧や木材の生産だけでなく、自然や水源など大変多くの機能を持っています。特に災害を防ぐ観点からも、山林や水路などの維持管理は非常に重要です。



【新規】

輝く人材キャリアアップ事業



担当課	工業振興課
-----	-------

事業費		452千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	452千円

労働環境の向上、職業観の育成や勤労意欲の創出など、様々な対象者に向けてキャリアの形成や磨きを行なうためのセミナーを開催する。

未就職者等雇用促進事業



担当課	工業振興課
-----	-------

事業費		1,116千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	1,116千円

中高年齢者等を雇用した企業へ助成を行い、中高年齢者等の雇用促進と企業の支援を行います。

高校生未来の就職サポート事業



担当課	工業振興課
-----	-------

事業費		423千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	423千円

厳しい雇用情勢のなか、高校生を対象とした進路を考える講演会を実施するほか、職業座談会の実施や諏訪圏工業メッセの見学を通じ、生徒の職業観の育成を図ります。また、インターシップを受け入れた企業に対し、経費の一部を助成します。

障害者就労体験補助金



担当課	工業振興課
-----	-------

事業費		90千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	90千円

法定社会福祉施設において就労支援を受けている方が、就職に向けて市内企業での就業体験等を行うにあたり、受入企業へ経費を助成し、障害のある方の就労移行を支援します。



働く場の確保は、生活基盤の維持のために不可欠なものです。商工業や農林水産業の振興事業とも連携し、市民のみなさまの安定した生活の確保を支援していきます。

少子高齢化が進むなかで、社会保障などの福祉施策の充実が重要な課題となってきています。市民のみなさま一人ひとりが、将来にわたって健康で快適に、豊かな生活を送ることができるよう、保健医療の充実、子育て支援、福祉の充実を掲げ、さまざまな施策を推進するほか、第2次岡谷市健康増進計画の2年目として、計画に基づく事業を積極的に実施します。



乳幼児等医療費給付事業



担当課		医療保険課	
事業費		151,532千円	
財源	補助金	37,883千円	
	借入		
	使用料等		
	市	113,649千円	

乳幼児家庭等の経済的負担の軽減による子育て支援の推進、充実を図ります。今年度も所得制限は設けず、入院時食事代も全額給付します。

未熟児養育事業



担当課		健康推進課	
事業費		4,266千円	
財源	補助金	2,754千円	
	借入		
	使用料等	585千円	
	市	927千円	

養育のため入院を必要とする未熟児に対して養育に必要な医療費の給付を行うとともに、退院後は医療機関との連携による訪問指導を行い、乳児の心身の健全な発育・発達を促し、母親の育児負担の軽減を図ります。

【新規】

岡谷市看護専門学校運営事業



担当課		看護専門学校	
事業費		84,600千円	
財源	補助金	29,000千円	
	借入		
	使用料等	18,250千円	
	市	37,350千円	

平成26年4月より、県内唯一となる全日制2年課程の看護専門学校を開校運営することにより、地域の看護師養成と確保を図ります。

【新規】

看護師修学支援貸付金



担当課		健康推進課	
事業費		1,500千円	
財源	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市	1,500千円	

岡谷市看護専門学校に修学する方を対象に、貸付金を貸与し、学費負担の軽減を図ります。

医師確保対策事業



担当課	健康推進課
-----	-------

事業費		5,000千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	5,000千円

県外から新たに転入し、市内の指定医療機関に従事する方に対し就業支援を行い、医師確保及び地域医療体制の充実を図ります。

福祉関係4計画策定事業



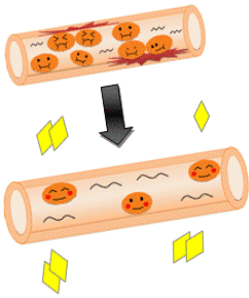
担当課	社会福祉課
-----	-------

事業費		4,798千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	4,789千円

乳幼児から高齢者までのすべての市民が、健康でいきいきと安心した暮らしの実現をめざして策定をしている「地域福祉計画」、「障害者福祉計画」、「障害福祉計画」、「高齢者福祉計画」について、新たに平成27年度からの計画の策定を行います。

【新規】

血管を守ろうプロジェクト事業



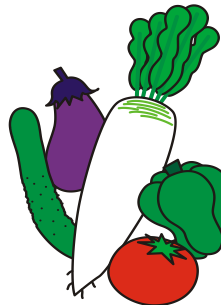
担当課	健康推進課
-----	-------

事業費		332千円
財源	補助金	166千円
	借入	
	使用料等	
	市	166千円

健康づくり講演会や運動講座、地区保健委員会活動等を通じて、ライフステージ別の健康課題や必要な取り組みを周知啓発し、生活習慣の改善につなげ、「健康寿命の延伸」を図ります。

【新規】

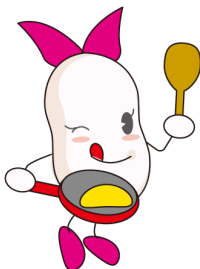
すこやか食生活サポート事業



担当課	健康推進課
-----	-------

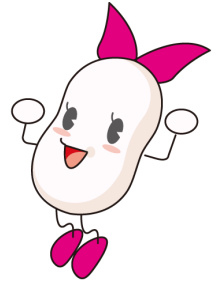
事業費		273千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	273千円

特定保健指導対象外のハイリスク者に対して、新たに個別訪問等を行い、栄養指導することにより生活習慣病の発症・重症化の予防を図ります。

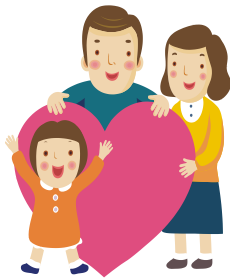


健康は、充実した生活を送るための基本です。市民のみなさまの健康の維持・増進に向け、さまざまな施策を展開していきますが、一人ひとりが自分の健康状態を自覚し、「自分の健康は自分で守る」という意識を持ちましょう。

「輝く子どもの育成」は、平成26年度の重点施策のひとつです。安心して子どもを産み、育てられる環境づくりと、将来を担う子どもたちの、たくましく、健やかな成長を願い、施策の充実・拡大を図っていきます。



【新規】 「第3次児童育成計画」 「子ども・子育て支援事業計画」 策定事業



		担当課	子ども課
財源	事業費		4,117千円
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市		4,117千円

子育て支援の基本的な指針となる「児童育成計画」について、平成27年度からの新たな計画を策定するとともに、子ども・子育て関連3法の本格施行に向け、「子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

【新規】子育てパパ・ママ リフレッシュ事業



		担当課	子ども課
財源	事業費		マンパワー
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市		

子育て中の市内在住の保護者を対象に、生後1歳を迎えた幼児を無料で預けられる休日・一時保育のサービス利用券(1回分)を交付することで、育児負担の軽減を図ります。

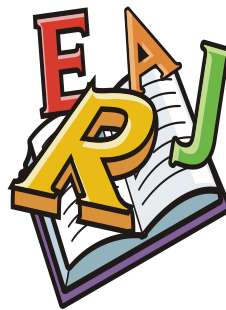
【新規】保育園園庭芝生化事業



		担当課	子ども課
財源	事業費		1,775千円
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市		1,775千円

園児の屋外活動の充実と安全・安心の向上のため、試験的にあやめ保育園の園庭の一部を芝生化し、寒冷地での生育や維持管理の検証を行います。

【新規】世界にタッチ英語に 触れよう事業



		担当課	子ども課
財源	事業費		マンパワー
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市		

保育園で国際交流員による英語を用いた交流プログラムを開催し、園児が楽しみながら自然に英語に触れられる機会を設け、英語や異文化への親近感の醸成を図ります。

福祉施策を中心とした社会保障の充実、安全で安心な日常生活を送るうえで欠かせません。地域福祉・障害者福祉・高齢者福祉等の充実に向けた各種事業を積極的に実施し、人にやさしいまちづくりを進めてまいります。



【新規】

こころのバリアフリー推進事業

担当課 社会福祉課



事業費		208千円
財源	補助金	156千円
	借入	
	使用料等	
	市	52千円

障害者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」の除去に向け、障害者等の理解を深めるための啓発活動の強化を行うとともに、障害者優先調達推進法に基づく岡谷市調達方針の推進に取り組むなど、共生社会の実現を図ります。

【新規】グループホーム施設

整備事業補助金

担当課 社会福祉課



事業費		1,500千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	1,500千円

グループホームの設置に対して補助を行うことにより、障害者が地域生活へ移行できるよう支援の充実を図ります。

不妊・不育治療助成事業

担当課 健康推進課



事業費		1,473千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	1,473千円

不妊及び不育治療を受けている市内の夫婦に対し、治療費の一部を助成し、子どもを授かりたいと願う方々への支援の拡充を図ります。

育成医療事業

担当課 社会福祉課



事業費		1,540千円
財源	補助金	1,125千円
	借入	
	使用料等	
	市	415千円

18歳未満の障害児に対して、身体障害の除去、軽減する手術等に対して支給認定及び自立支援医療費の支給を行い、障害児の自立支援を図ります。



大量生産・大量消費を繰り返す社会システムにより、地球温暖化や資源の枯渇、森林の破壊等、地球規模での環境問題が数多く引き起こされ、平成23年3月には、東日本大震災により東北地方を中心に甚大な被害が及ぼされるなど、暮らしを守る取り組みが急務となっています。

岡谷市においても、平成18年に経験した豪雨災害の教訓を活かし、さまざまな防災対策を進めるとともに、日々の暮らしと自然とが調和した、環境にやさしい市民生活を推進し、快適な生活環境と安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

【新規】ごみ減量へ 「まったなし」啓発推進事業



担当課		環境課	
事業費		264千円	
財源	補助金		
	借入		
	使用料等	264千円	
	市		

諏訪湖周クリーンセンターの稼働に向けて、平成27年度のごみ減量目標を達成するため、環境学習会の開催のほかイベント時の啓発活動等を実施します。

【新規】第3次岡谷市 環境基本計画策定事業



担当課		環境課	
事業費		1,430千円	
財源	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市	1,430千円	

岡谷市環境基本条例に示された基本理念を踏まえ、平成27年度を初年度とした第3次岡谷市環境基本計画を策定し、事業の推進を図ります。

地球にやさしい暮らし 応援補助金



担当課		環境課	
事業費		8,790千円	
財源	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市	8,790千円	

自然エネルギーを有効活用するため、住宅への太陽光発電システム及び雨水貯留施設の設置に要する経費に対して補助し、地球温暖化防止や資源の有効活用、環境負荷の低減といった地球環境保全を推進します。

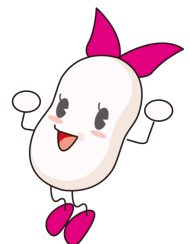
【太陽光発電システム】

補助額：1kwあたり12千円、限度額：48千円

【雨水貯留施設】100リットル以上のもの

補助額：経費の1/2以内、限度額：15千円

環境保全は、地道な取組みと日々の積み重ねが大変重要です。岡谷の豊かで恵まれた自然環境を再認識し、未来の子どもたちが安心して暮らせる地球環境を残していきましょう。



湖周地区ごみ処理施設 整備負担金



担当課		環境課
財源	事業費	278,303千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	93,796千円
	市	184,507千円

湖周地区ごみ処理施設整備に必要な事務費のほか、平成25年度より実施している岡谷市清掃工場の解体工事及び新施設建設に伴う造成工事等の経費を負担し、平成28年度の稼動に向けた事業の推進を図ります。

【新規】小型家電リサイクル 試験回収事業



担当課		環境課
財源	事業費	マンパワー
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	

平成25年4月に施行された「小型家電リサイクル法」を受けて、電化製品のリサイクル回収の効率的・効果的な方法の検討に向けて、試験回収や市民アンケート等を実施します。



湖周地区ごみ処理施設 整備関連事業



担当課		環境課
財源	事業費	35,520千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	22,393千円
	市	13,127千円

湖周地区ごみ処理施設整備にあたり、岡谷市清掃工場の解体工事が行われていることから、ストックヤード等を設置し、新施設稼動までのごみ処理体制を確保します。

諏訪湖ヒシ除去事業



担当課		環境課
財源	事業費	150千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	150千円

諏訪湖に繁茂するヒシを除去することにより、諏訪湖の汚濁防止、浄化を推進し、自然環境と暮らしが調和したまちづくりを推進します。

林業振興事業



担当課		農林水産課
財源	事業費	12,216千円
	補助金	750千円
	借入	
	使用料等	
	市	11,466千円

民有林の森林整備や保全に対し補助を行い、環境整備を行うとともに、災害や土砂流出防止等による安全な森林づくりを推進します。

自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち

平成18年7月豪雨災害は、わたしたちの生活に大きなつめ跡を残しました。この教訓を忘れることなく、市民のみなさまをはじめ、地域、関係機関、行政がそれぞれの役割を果たし、安全の確保と安心した生活が送れるよう、事業を展開していきます。



新消防庁舎建設事業



担当課		消防課	
		事業費	627,105千円
財源	補助金		
	借入	473,700千円	
	使用料等		
	市	153,405千円	

将来的に発生が強く危惧される、南海トラフ巨大地震等の災害から市民の生命と財産を守り、安全・安心な暮らしの確保を図ります。

平成26年度中の完成、平成27年度からの運用開始を目指して整備を実施します。

【新規】こども防災教育事業



担当課		危機管理室	
		事業費	マンパワー
財源	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市		

保育園や幼稚園を訪問し、児童が親しみやすい紙芝居やゲームを通じて、各種災害や防災について幼少期からの防災意識の醸成を図ります。

民有林間伐推進事業



担当課		農林水産課	
		事業費	6,553千円
財源	補助金	1,782千円	
	借入		
	使用料等		
	市	4,771千円	

県の「森林づくり推進支援金」を活用し、災害に強い森林づくりや二酸化炭素の削減など、公益的機能を発揮できる森林整備を推進します。

住宅耐震診断・耐震改修補助金



担当課		都市計画課	
		事業費	3,172千円
財源	補助金	1,984千円	
	借入		
	使用料等		
	市	1,188千円	

昭和56年以前に建設された個人住宅等の耐震診断及び耐震補強にかかる経費の一部を補助し、安全・安心な暮らしの実現に努めます。

【耐震診断事業】

・木造、非木造

市の委託事業により全額公費負担

【耐震改修補助金】

診断士による診断の結果、倒壊の恐れなど危険性の高い住宅について補強指導を行い、改修要望のあった住宅に対して助成を行います。

補助率：対象工事費の1/2、限度額：300千円

生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち



少子高齢化や環境問題など、社会を取り巻く環境は、予想をはるかに超えるスピードで変化し、市民のみなさまの日常生活に大きな影響を与えています。このような時代の変化に的確に対応するため、学校、家庭、地域、関係機関などと連携を図り、すべての人が、住み慣れたまちで生きがいのある快適な生活を送ることができるよう、たくましく豊かな人間性や社会性を育む生涯学習を推進します。

通学路交通安全対策事業



担当課

教育総務課
土木課

財源	事業費	15,900千円
	補助金	8,745千円
	借入	6,400千円
	使用料等	
	市	755千円

通学路の緊急合同点検の結果に基づき、平成26年度は市道の12箇所の区画線やガードポスト等の安全対策を実施し、児童や生徒の安全確保を図ります。

【新規】

図書館エレベーター更新事業



担当課

図書館

財源	事業費	15,600千円
	補助金	
	借入	11,700千円
	使用料等	
	市	3,900千円

乳幼児から高齢者、障害者など様々な人が安全で安心した施設の利用ができるよう、昇降機を更新し館内の施設整備を行います。

【新規】第5次岡谷市 生涯学習推進計画策定事業



担当課

生涯学習課

財源	事業費	20千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	20千円

生涯学習推進の柱となる「生涯学習推進計画」について、平成26年度で第4次計画が終了となることから、社会情勢の変化や多様化するニーズ等を踏まえ、平成27年度を初年度とした「第5次岡谷市生涯学習推進計画」を策定します。

【新規】かがやけ おかやキッズ 体力アッププログラム事業



担当課

スポーツ振興課

財源	事業費	1,758千円
	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	1,758千円

社会状況の変化に伴う子どもの体力低下に対応するため、小学校1・2年生の体育の授業に専門指導員を派遣し、「コーディネーショントレーニング」などを通じて、基礎的な運動能力の向上を図ります。



将来を担う子どもたちの心身の発達を促し、知識の習得と豊かな人間性を育むとともに、創造力豊かで、人として自立できる力を身につけていけるよう、学校教育を中心とした教育環境の充実に努めます。

家庭や地域社会、関係機関などと連携を図りながら、社会参加や交流活動などの機会の充実などにより、子どもの心の自立を支え、多様な人間関係を形成する重要な時期にある青少年の健全育成を推進します。



【新規】

武井武雄生誕120年記念事業



武井武雄

担当課 ブランド推進室

事業費		3,000千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	3,000千円

平成26年は武井武雄の生誕120年にあたることから、全国へ武井武雄の童画文化を発信するため、NHKサービスセンターとの共催により、全国巡回展を開催するとともに、地元市民にも武井武雄の童画文化のすばらしさを再認識してもらう機会として各種プロモーション事業を展開し、童画のまちづくりを推進します。

【新規】美術考古館

特別企画展開催事業



担当課 美術考古館

事業費		965千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	479千円
	市	486千円

賑わいの創出とまちの回遊性を高めるため、美術考古館の開館1周年を記念して「開館1周年記念特別企画展」を開催します。

【新規】マウント・プレザント市

姉妹都市提携50周年記念事業



担当課 企画課

事業費		2,303千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	1,097千円
	市	1,206千円

マウント・プレザント市との姉妹都市提携50周年(平成27年)を記念して、平成26年度は市民訪問団がマウント・プレザント市を訪問し、平成27年度には、訪問団を招へいし、海外姉妹都市交流の推進を図ります。

【新規】岡谷市

スポーツ推進計画策定事業



担当課 スポーツ振興課

事業費		242千円
財源	補助金	
	借入	
	使用料等	
	市	242千円

スポーツの果たす役割や地域の実情・課題などを踏まえ、平成27年度を初年度とした「岡谷市スポーツ推進計画」を策定し、年齢や性別、障害等を問わずスポーツに参画できる環境を整えるとともに、市民ひとり1スポーツの実現に向けた計画を策定します。

地域の特性に応じた良好な市街地形成と居住環境の向上、地域の活性化を図るため、都市基盤の整備、住環境の整備を進めるとともに、都市と自然とが調和した、快適で住みやすいまちづくりを推進していきます。



【新規】やまびこ公園園路 バリアフリー化事業



担当課		土木課	
財源	事業費	30,100千円	
	補助金	15,000千円	
	借入	13,500千円	
	使用料等		
	市	1,600千円	

都市公園施設の更新等の整備を行い、市民の身近な憩いの場としてさらなる充実を図ります。平成26年度は、鳥居平やまびこ公園内の園路一部を改修しバリアフリー化を実施します。

道水路等新設改良事業



担当課		土木課	
財源	事業費	207,925千円	
	補助金	49,235千円	
	借入	96,500千円	
	使用料等		
	市	62,190千円	

幅員4m以上の生活道路整備を基本に、道路の新設、現道の拡幅、視距改良、交差点改良、道路側溝・水路等排水施設整備、舗装の改修などを実施し、安全で快適な道路環境を構築します。

住宅リフォーム助成事業



担当課		都市計画課	
財源	事業費	13,000千円	
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市	13,000千円	

住環境の改善や小規模住宅関連業者に対する支援策として、住宅のリフォームに要する経費を助成します。今年度も昨年度に引き続き、子育て世代の定住促進などの助成を行います。

湖畔若宮地区整備事業



担当課		都市計画課	
財源	事業費	36,134千円	
	補助金		
	借入	15,400千円	
	使用料等		
	市	20,734千円	

地区の住環境の整備、防災体制の向上及び地域の活性化など、現状に即した市街地整備を実現するため、地元住民との協働により、地区計画による整備を進めます。今年度は地区内の道路築造工事を行います。

地域幹線道路整備事業



担当課 都市計画課

事業費		51,060千円
財源	補助金	
	借入	45,000千円
	使用料等	
	市	6,060千円

県が実施する岡谷川岸線拡幅事業と田中線拡幅事業の2街路について、地元負担金を負担し、地域幹線道路の整備を促進します。

【岡谷川岸線】

待張川交差点～川岸小学校(400m)

【田中線】

湖畔若宮地区(320m)

橋梁長寿命化修繕事業



担当課 土木課

事業費		5,000千円
財源	補助金	2,750千円
	借入	2,000千円
	使用料等	
	市	250千円

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した橋梁の計画的かつ予防的な維持修繕に取り組みます。今年度は三沢跨道橋、橋原跨線人道橋、岡谷駅歩道橋の実設計を行います。

【新規】道路ストック点検事業



担当課 都市計画課

事業費		31,451千円
財源	補助金	4,670千円
	借入	3,400千円
	使用料等	
	市	23,381千円

平成27年度の新病院開院に向け、市役所西側の間下東街道線の整備を行い、周辺道路の交通渋滞の解消と、歩行者の安全確保を図ります。



担当課 土木課

事業費		3,000千円
財源	補助金	1,650千円
	借入	
	使用料等	
	市	1,350千円

市民生活や経済の基盤である道路の附属物(標識、照明など)の安全対策として、市道1・2級道路を中心に約300箇所の施設の安全点検等を実施します。



道路などの交通網の整備は、普段の生活ばかりでなく、地域経済や地域間交流を支える重要な社会基盤です。市民のみなさまの要望も伺いながら、生活道路を含めた、きめ細かな整備を進めていきます。

総合計画の推進に向けて

平成26年度は、第4次岡谷市総合計画の6年目であり、後期基本計画の初年度を迎えることから、前期基本計画に基づき実施してきた施策を踏まえ、「未来の岡谷に旅立つ年」として、「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」の実現を目指し、これまでに掲げてきた事業のほかに、次のような事業も展開し、総合計画の着実な推進を図ります。



【新規】社会保障・税番号制度 システム改修事業



担当課		広報情報課	
財源	事業費	14,148千円	
	補助金	12,600千円	
	借入		
	使用料等		
	市	1,548千円	

社会保障・税番号制度関連4法の公布により、複数の行政機関に存在する特定の個人情報を連携させる基盤を整備し、社会保障等の透明性を高め、国民にとって利便性の高い社会を実現するため住民基本台帳システム等の改修を行います。

【新規】明日の岡谷を考える 懇談会事業



担当課		企画課	
財源	事業費	81千円	
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市	81千円	

若い世代を対象に、まちなかや現在建設中の新施設の見学を行い、第4次岡谷市総合計画後期基本計画の推進を図るため、ご意見・ご提案をいただくことで、「みんなが元気に輝くたくましいまち岡谷」の具現化を図ります。

【新規】まちなか広報マン事業



担当課		広報情報課	
財源	事業費	マンパワー	
	補助金		
	借入		
	使用料等		
	市		

市民の方に、市のイベントのレポーターとして参加してもらい市民目線の番組作成を行うことにより、シルキーチャンネルの番組への市民参加の促進と視聴者拡大を図ります。また、SNSなどを利用した情報発信について検証を行います。

岡谷市ホームページ更改事業



担当課		広報情報課	
財源	事業費	1,435千円	
	補助金		
	借入		
	使用料等	180千円	
	市	1,255千円	

ホームページの記事などを掲載・管理するためのシステムをリニューアルすることにより、SNSやスマートフォンなどに対応し、利用者の利便性の向上を図ります。

～6つの重要施策の進捗状況～



市民のみなさま一人ひとりが、安全・安心で、生きがいを持った生活が送れますよう、重要施策であります6つの事業の着実な推進を図っております。現在までに完了したものもありますが、工事の進捗状況や今後のスケジュールなどをお知らせします。



新病院建設事業

・平成27年の開院に向け、本年度は建物本体工事の9割の進捗を予定しているほか、医療機器や周辺道路などの整備も併せて進めてまいります。



新消防庁舎建設事業

・建物本体の工事が進んでおり、10月の竣工を予定しています。諏訪広域事業であります消防・救急無線デジタル化や高機能消防指令センターの整備などと併せ、平成27年4月の公用開始を目指しています。



湖周地区ごみ処理施設整備事業

・現在、旧施設の解体と敷地の造成を進めており、9月から建物本体工事に着手する予定です。平成28年9月の稼働に向け整備を進めてまいります。



製糸関連施設整備事業（新市立岡谷蚕糸博物館）

・施設整備の最終段階となっております。展示工事・外構工事も同時に進めており、新たな岡谷ブランド発信の拠点施設として8月1日の開館を予定しています。



岡谷市看護専門学校

・岡谷看護専門学校は、平成26年4月1日に開校しました。県内で唯一の全日制2年課程の看護専門学校として、地域医療を担う看護師を養成してまいります。



市立岡谷美術考古館

・新美術考古館は、平成25年11月3日にオープンしました。中心市街地に位置し、まちなかの賑わいを創出することにより、多くの方々が来館され、大変好評をいただいております。

「岡谷市」のあれこれ（岡谷市の基礎知識）

Q 岡谷市っていつから市になったの？



A. 岡谷市制が施行されたのは、昭和11年4月1日です。
岡谷市の前身である平野村の当時の人口は、約54,000人で、日本最大の村でした。また、のちに合併する湊、川岸、長地村を合わせると約76,600人になりました。ちなみに岡谷市は、長野県内において、長野市、松本市、上田市、について4番目に市制が施行されています。

いまいごろう
なお、岡谷市の初代の市長は、「今井梧楼」さんで私で8代目となります。

Q 岡谷市の面積はどれくらい？

A. 岡谷市の面積は85.19km²です。

長野県全77市町村において、面積ランキング1位は、松本市(978.77km²)で岡谷市は48位となっています。ちなみに岡谷市は、長野県19市の中で最も面積が小さい市となっています。

また、岡谷市の標高は、市役所で779.2mです。なお、一番低いところは、諏訪湖で759.3m、一番高いところで鉢伏山頂で1,928.5mとなっており、標高差はなんと1,169.2mもあることとなります。

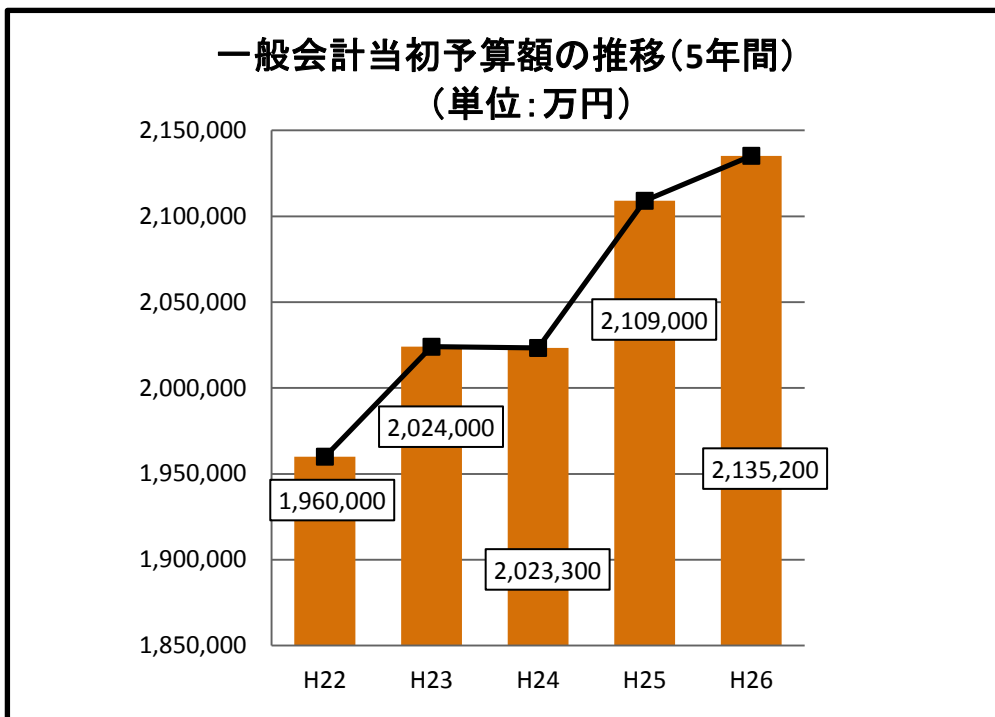
Q 岡谷市の姉妹都市はどこですか？

A. 岡谷市の姉妹都市は、群馬県富岡市、岡山県玉野市、静岡県東伊豆町、アメリカ合衆国マウント・プレザント市になります。平成27年度にはマウント・プレザント市との姉妹都市提携50周年を迎えます。

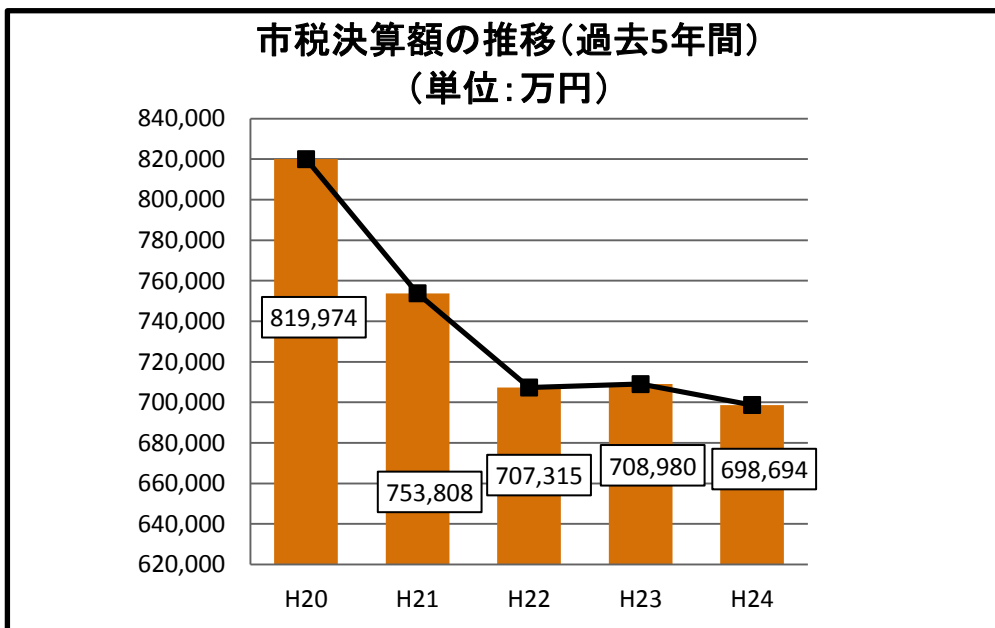
<提携年月日>

群馬県富岡市	(S47.10.15)	岡山県玉野市	(S55.10.1)
静岡県東伊豆町	(S60.3.2)	マウント・プレザント市	(S40.6.14)



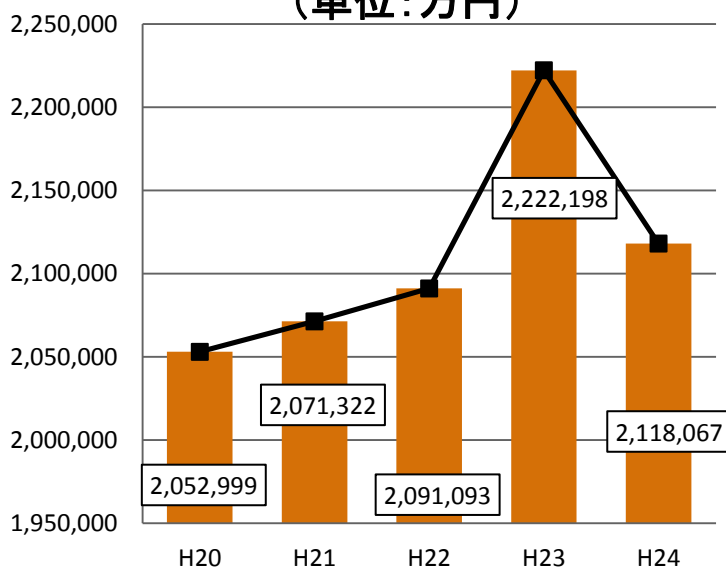


平成26年度の一般会計当初予算は、213億5,200万円となり、平成25年度に引き続き、210億円を超える予算となりました。これは、市債の借り換えや国の経済対策など、臨時的な経費が含まれていることから、これらの特殊要因を除いた予算総額は約202億円で、重要施策として進めている施設整備のうち一部が平成25年度で完了することなどに伴い実質的な予算規模は縮小しております。

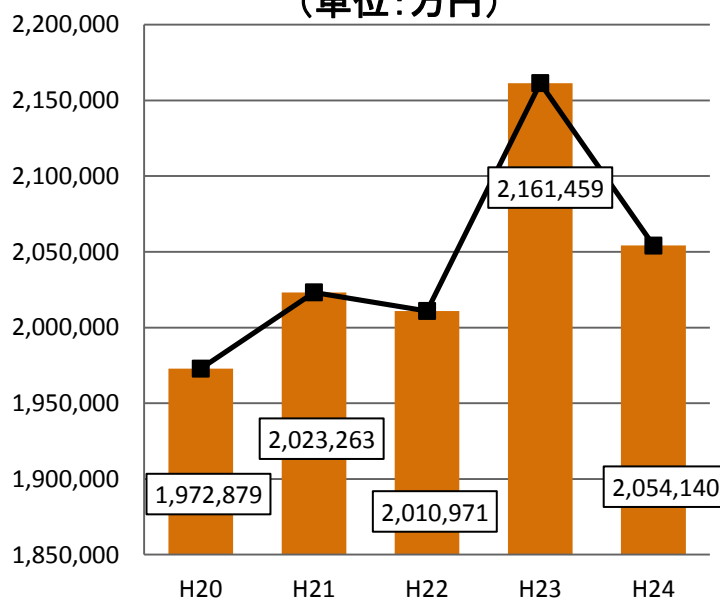


市民のみなさまや事業所などから納められた市税収入の推移です。平成20年度以降についてはリーマンショックの影響により景気は大きく低迷し、その結果、市税収入も大きく落ち込んでいます。平成24年度は、昭和63年度以来に収入額が70億円を下回ることとなり、引き続き厳しい財政運営となりました。

一般会計歳入決算額の推移(過去5年間) (単位:万円)

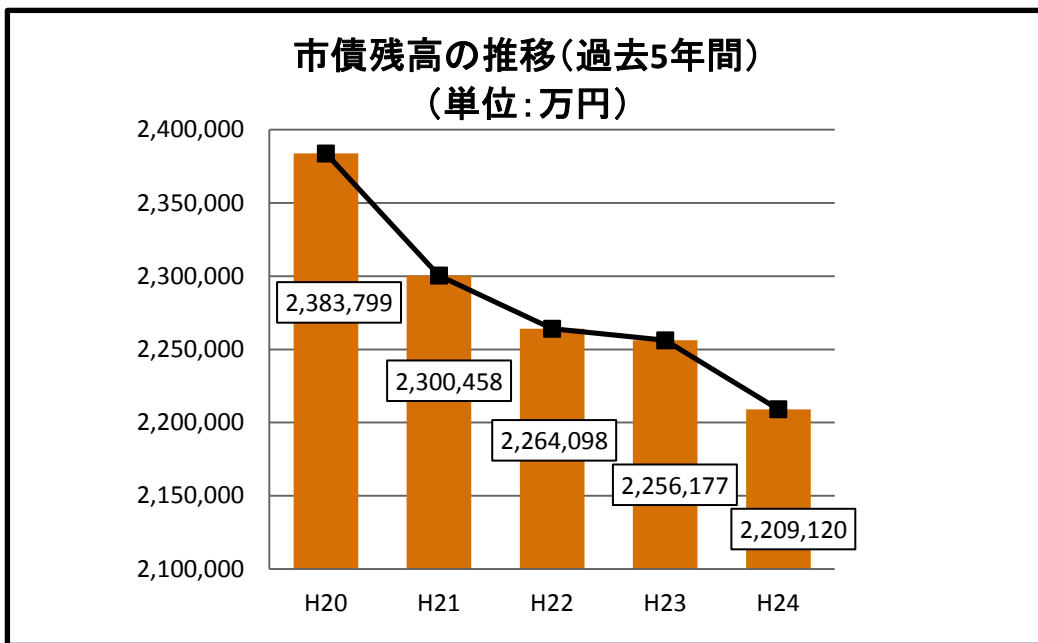


一般会計歳出決算額の推移(過去5年間) (単位:万円)



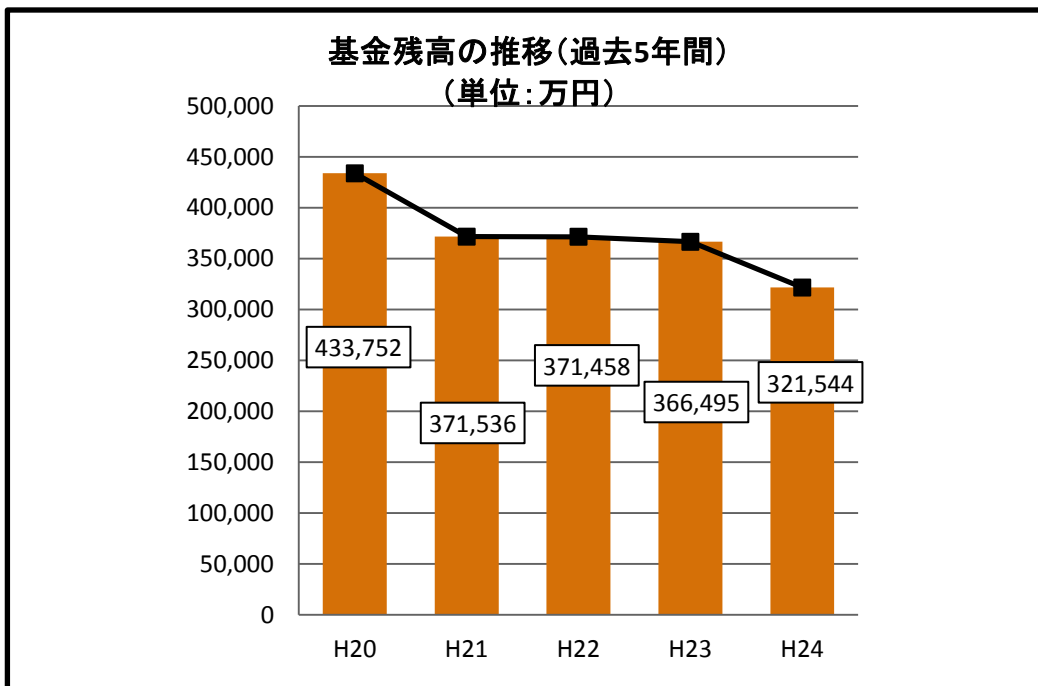
その年度の市の収入である歳入と、支出である歳出に分けて計画を立てたものが「予算」ですが、年度が終わったあとに、その年度途中の補正予算を含め、どのような収入があつて、どのようなことにどのくらいのお金が使われたかを結果として示すものが「決算」です。

平成24年度は、厳しい財政事情の中、国・県等の補助制度を有効に活用し、積極的な事業を展開するとともに、経済・雇用対策などを実施した結果、歳入歳出ともに200億円を超える決算となりました。



市の借金である市債の残高の推移です。

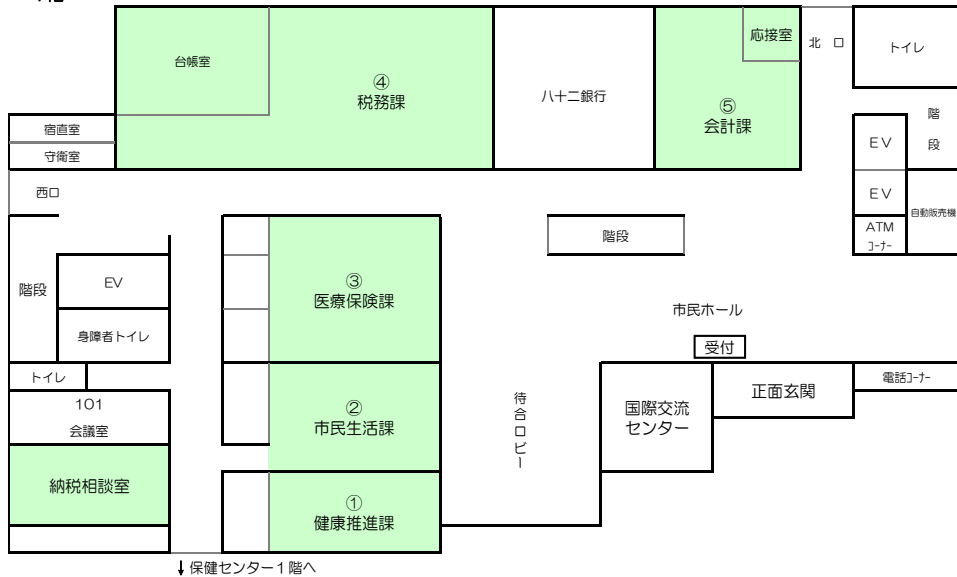
公共施設の建設や都市計画道路の築造など大型事業の実施により、平成16年度までは増加してきましたが、キャップ制(元金の返済以上の借入れは行わない)の徹底により、残高は着実に減っています。今後も将来負担の軽減が図られるようさらに努めてまいります。



市の貯金である基金の残高の推移です。

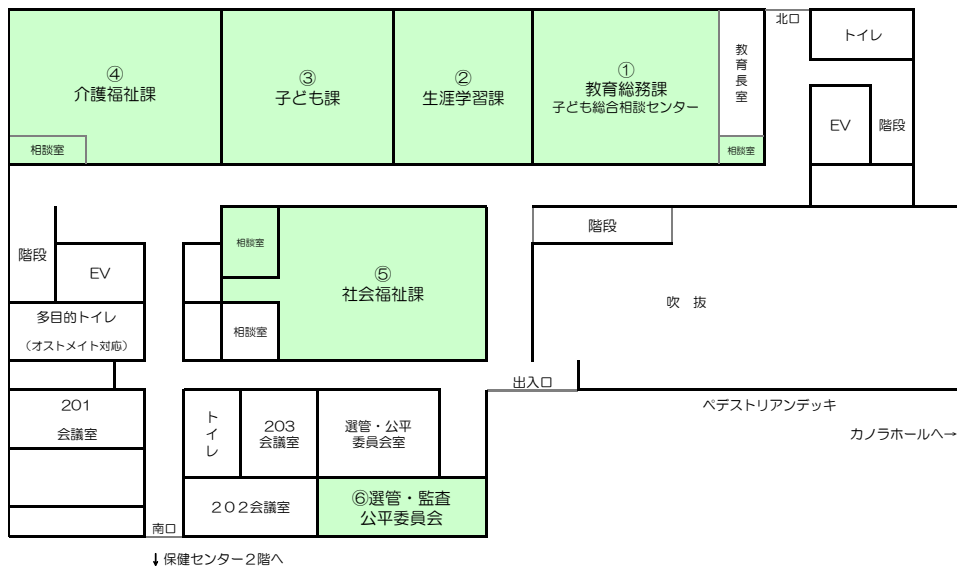
大型事業の実施のほか、平成18年度の災害対応などに要する財源不足を補うために取崩しを行ってきました。近年は、景気の低迷などの影響に対応するため、取崩しを行った結果、残高が減少し続けています。今後は、基金に頼らない財政構造への転換を図るとともに、基金の積み増しを行ってまいりたいと考えています。

1階



- | | |
|--------|---------------------------------|
| ①健康推進課 | 健康の増進、感染症予防、健康教育・健康相談、母子保健指導ほか |
| ②市民生活課 | 戸籍、住民、印鑑の登録・公証、国民年金、安全衛生、内山霊園ほか |
| ③医療保険課 | 国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、福祉医療費の支給ほか |
| ④税務課 | 市民税・軽自動車税、固定資産税等の賦課・徴収、税の証明ほか |
| ⑤会計課 | 公金の出納・管理、決算の調整ほか |

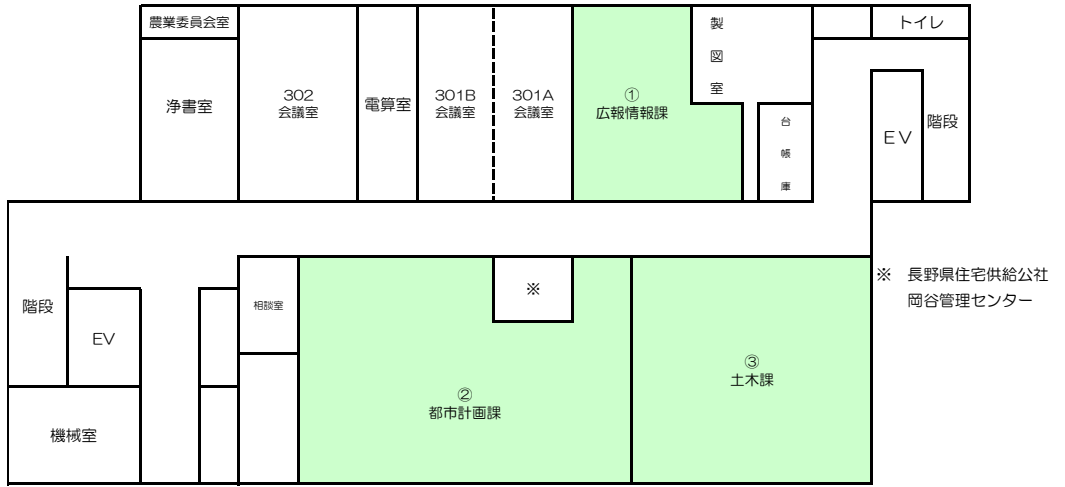
2階



- | | |
|--------------|----------------------------------|
| ①教育総務課 | 教育委員会の施策の企画・調整、小中学校の管理運営、施設整備ほか |
| ②生涯学習課 | 生涯学習の推進、社会教育の振興、学童クラブの管理運営ほか |
| ③子ども課 | 子ども手当、家庭児童相談、保育所の運営等、幼稚園に関することほか |
| ④介護福祉課 | 介護保険の申請受付、訪問調査、介護予防ケアマネジメントほか |
| ⑤社会福祉課 | 社会福祉対策、障害福祉、生活保護、児童扶養手当、諏訪湖ハイツほか |
| ⑥選管・監査・公平委員会 | 選挙、市の財務監査、職員に対する不利益処分の審査ほか |

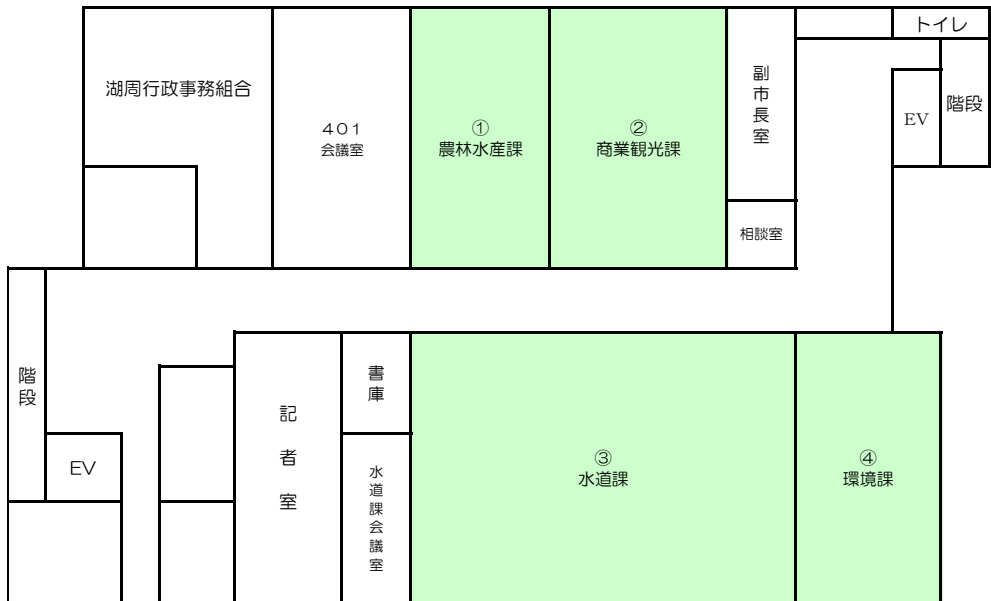
組織・窓口のご案内

3 階



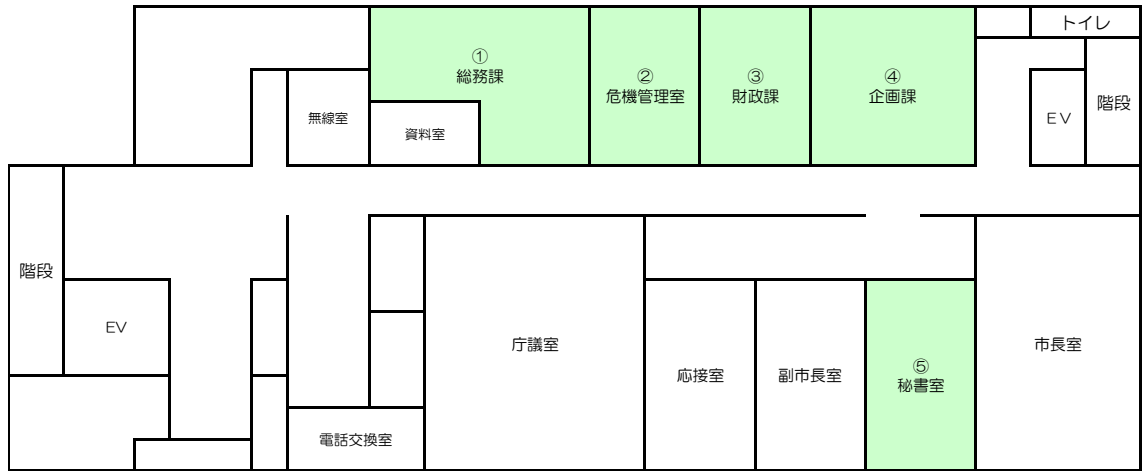
- | | |
|---------|--------------------------------|
| ① 広報情報課 | 広報おかやの発行、シルキーチャンネル、区長会、統計調査ほか |
| ② 都市計画課 | 都市計画の策定・決定、都市計画街路事業、市営住宅管理ほか |
| ③ 土木課 | 道路、水路等の新設・改良、維持・補修工事、その他除雪業務ほか |

4 階



- | | |
|---------|----------------------------------|
| ① 農林水産課 | 農林業・水産業の振興、農林業の基盤整備、市有林及び分収林事業ほか |
| ② 商業観光課 | 商業・サービス業の支援、市民バスの運行、観光宣伝の強化ほか |
| ③ 水道課 | 水道事業、下水道事業、温泉事業の運営ほか |
| ④ 環境課 | 清掃事業やごみの収集、廃棄物の資源化、公害、自然保護ほか |

5 階



- ① 総務課 市役所庁舎の管理、職員の人事・給与、職員研修に関する業務ほか
- ② 危機管理室 防災及び災害対策の総合連絡調整ほか
- ③ 財政課 予算の編成・執行管理、建設工事等の入札、財産管理ほか
- ④ 企画課 総合計画、主要事業の企画・調整、新病院建設、広域行政、行政改革、男女共同参画ほか
- ⑤ 秘書室 秘書・渉外業務、褒章、表彰、姉妹都市交流に関する業務ほか

7 階



- ① 議会事務局 議会の本会議や各種委員会の運営、会議録の作成等議会に関する業務ほか

その他の出先機関

支所	<p>●湊・川岸・長地に各支所を設け、戸籍・住民票・印鑑証明などの諸証明書の発行、市税や上下水道料金等の収納事務などの業務を行っています。福祉タクシー利用券の販売、温泉メタルの販売、長野県交通災害共済加入の受付も行っておりますのでお気軽にお越しください。</p> <p>営業時間：午前8：30から午後5：15 休日：土曜・日曜・祝日・年末年始（12月29日から1月3日まで）</p>
消防課	<p>●火災予防の推進、消防団の充実や防火・防災協力団体の育成、消防水利、消防施設、消防体制の充実強化に関する業務を行っています。</p> <p>●地域を守る消防団員を随時募集しています。お問い合わせは消防課まで。</p>
岡谷駅前出張所	<p>●戸籍・住民票・印鑑証明などの証明書の発行、印鑑登録、戸籍届書の預かり、埋火葬の許可、市税等の収納、福祉タクシー利用券の販売、長野県交通災害共済加入の受付などの業務を行っています。</p> <p>お気軽にお越しください。</p> <p>・営業時間 平日 午前10時から午後7時まで 土日祝日 午前10時から午後5時まで</p> <p>・定休日 毎週火曜日 年末年始（12月29日から1月3日まで）</p>
工業振興課 産業振興戦略室	<p>●工業の振興を担当する「工業支援担当」と雇用対策や人材活用の支援を担当する「雇用対策・人材活用担当」により構成されており、中小企業の技術振興対策、産学官連携の推進、中小企業金融対策、受注機会の確保対策、雇用促進対策、勤労者対策等の業務を行っています。</p> <p>●産業振興の計画、工業等の活性化・高度化・近代化支援や企業誘致を行っています。</p> <p>●テクノプラザおかや 工業振興の拠点施設として、各種相談業務等を行っています。</p> <p>開館時間 平日：午前8：30～午後9：30 土日：午前8：30～午後5：30</p> <p>休館日 国民の休日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）</p>
スポーツ振興課	<p>●生涯を通じて学び、豊かな心を育むまちの実現に向けて、スポーツの普及や指導に関すること、各種スポーツ大会の計画や運営、市民の体力づくりに関する業務を行っています。</p> <p>●関係施設 市民総合体育館、庭球場、水泳プール、市営岡谷球場、川岸スポーツ広場、湖畔広場、やまびこ国際スケートセンター</p>
市立岡谷図書館	<p>●図書及び視聴覚等の資料を収集、整備、保存して、幼児から成人に至るまで広く市民の利用に供し、その文化、教養、娯楽、調査研究、情報等の要求に資するとともに、諏訪地域図書館情報ネットワークシステムを活用する等、他機関との連携を密にしながら、市民の生涯学習の拠点としての図書館サービスの向上に努めています。</p> <p>開館時間：午前10：00～午後7：00 休館日：毎週月曜日、国民の祝日の翌日、毎月最終の金曜日、年末年始（12月29日から1月3日まで）、蔵書整理期間</p>

各公共施設の空き状況・ご予約は、それぞれの施設へ
電話にてご連絡いただくか、公共施設予約システムをご利用ください。
公共施設予約システム… <http://www.pf489.com/okaya/Web/>



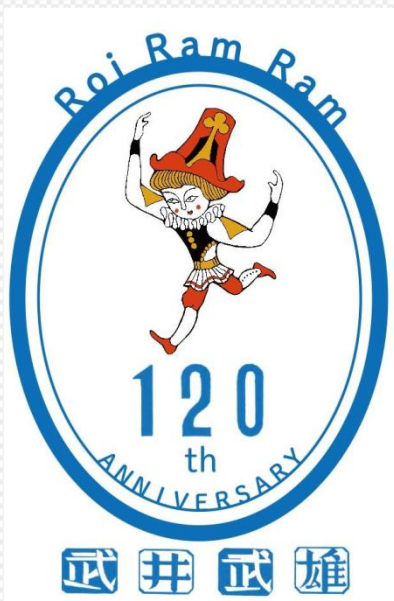
その他の出先機関

<p>蚕糸博物館</p>	<p>●市立岡谷蚕糸博物館（昭和39年開館）は、新病院建設に伴う移転のため、平成24年6月1日より休館させていただいております。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。</p> <p>なお、当館は新施設へ移転いたします。新施設のオープンは平成26年8月1日（金）を予定しております。</p> <p>また、休館中にお問い合わせ等がございましたら、 電話 0266-23-3489 又は 電話 0266-23-4811（岡谷市役所代表）までご連絡ください。</p>
<p>ブランド推進室 （蚕糸博物館内）</p>	<p>●ブランド推進室は、「ブランド発信に関する総合的な調整機能」を有し、経済部と連携しながら、岡谷ブランドの拠点施設となる蚕糸博物館を中心に、さまざまな地域資源を活用したまちづくりを推進しています。</p> <p>また、武井武雄作品を岡谷ブランドとして活かし、「童画のまち岡谷」のPRに積極的に取り組んでいます。</p>
<p>美術考古館</p>	<p>●美術考古館には、郷土作家の絵画、彫刻、工芸、書などの展示や考古資料として市内各所から出土した縄文時代から古墳時代に至るまでの土器・石器などを展示しています。</p> <p>昭和45年に市立岡谷蚕糸博物館に併設して誕生し、その後40有余年、多くみなさまにご利用いただきましたが、郷土に根ざす美術考古館として、「文化を核にしたまちづくり」の拠点のひとつとなるような施設を目指し、新たに童画館通りに生まれ変わりました。</p> <p>【開館時間】 午前10：00～午後7：00 【休館日】 毎週水曜日、国民の祝日の翌日 年末年始（12月29日から1月3日まで）</p>
<p>公民館</p>	<p>●主に青少年及び成人に対して行われる体育及びレクリエーション活動などの組織的な教育活動の場として、湊、川岸、長地に公民館を設置しています。</p> <p>【開館時間】 平日 午前8：30～午後9：30 土日 午前8：30～午後5：00 【休館日】 国民の祝日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）</p>
<p>生涯学習活動センター</p>	<p>●生涯学習館（カルチャーセンター） 【対象者】 だれもが集い学べる場です。どんな団体でも利用できます。 【料金】 お貸しする部屋の大きさなどで異なります。 【開館時間】 午前9：00～午後9：30まで 【休館日】 毎月第2火曜日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）</p> <p>●子育て支援館（こどものくに） 【対象者】 0歳～3歳を中心とした子どもとその保護者、子育て中の方。 【料金】 年に1回の利用者登録時に200円。 登録後は無料でご利用いただけます。 【開館時間】 午前9：30～午後5：30 【休館日】 毎月第2火曜日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）</p>
<p>看護専門学校</p>	<p>●地域医療や福祉の維持向上のため、平成26年度より県内唯一となる全日制2年課程の看護専門学校を開校しました。</p> <p>【授業時間】午前9:00～午後4:25まで(月～金)/臨地実習 【修業年限】全日制2年 【定員】1学年30名 【受験資格】准看護師の免許を受けており、 ①中学校を卒業し、3年以上看護業務に従事している者 ②高校を卒業又は高校を卒業している者と同等以上の学力があると認められている者</p>

組織・窓口のご案内

岡谷市関係施設一覧表

名称	電話番号	住所	名称	電話番号	住所
岡谷市役所	23-4811	幸町8-1	小口保育園	22-2489	銀座1-4-18
湊支所・公民館	22-2300	湊3-8-6	今井保育園	22-2935	長地6189-1
川岸支所・公民館	23-2200	川岸中3-1-29	あやめ保育園	22-2680	湖畔1-10-3
長地支所・公民館	27-8080	長地柴宮2-15-26	川岸保育園	22-3829	川岸中2-7-14
岡谷駅前出張所	21-7110	中央町1-1-1	夏明保育園	22-3861	川岸西1-18-16
消防署	22-0119	幸町8-1	成田保育園	22-2464	成田町2-10-6
岡谷市民病院	23-8000	本町4-11-33	みなと保育園	22-3566	湊3-6-50
看護専門学校	23-5030	2413-1	長地保育園	27-4194	長地鎮1-7-29
清掃工場	23-4811	※現在解体工事中 環境課市役所4階	若草保育園	22-4038	加茂町3-8-28
湖北火葬場「湖風苑」	22-2014	長地片間町1-5-28	西堀保育園	22-7670	堀ノ内1-6-4
内山霊園	22-2272	4769-205	東堀保育園	27-9366	長地御所2-3-1
勤労青少年ホーム	23-2201	田中町3-7-28	神明保育園	22-4555	神明町4-4-11
勤労会館			横川保育園	28-1180	長地出早3-4-16
塩嶺閣	22-3724	1723-79	つるみね保育園	22-2911	川岸上3-14-13
図書館	22-2031	本町4-1-39	神明小学校	22-2243	神明町1-9-40
蚕糸博物館	23-3489	※現在休館中	岡谷小学校	22-2210	山手町2-1-1
ブランド推進室		郷田1-4-8	小井川小学校	22-2234	東銀座1-1-4
美術考古館	22-5854	中央町1-9-8	田中小学校	22-2425	田中町3-5-17
旧林家住宅	22-2330	御倉町2-20	湊小学校	22-2728	湊3-6-1
旧渡辺家住宅	26-7545	長地柴宮3-8-40	川岸小学校	22-2663	川岸中1-1-2
塩嶺野外活動センター	23-8028	10016-1	長地小学校	27-8792	長地源1-1-3
市民総合体育館(スポーツ振興課・水泳プール・庭球場)			上の原小学校	28-1187	長地出早2-6-1
	22-8800	南宮3-2-1	岡谷北部中学校	22-3203	赤羽2-1-24
市営球場	22-2893	神明町1-1-1	岡谷南部中学校	22-3243	湊2-1-8
鳥居平やまびこ公園	22-6313	4769-14	岡谷東部中学校	27-8644	長地柴宮1-9-13
ローラースケート	23-9451		岡谷西部中学校	22-3461	川岸中1-1-1
やまびこ国際スケートセンター	24-5210		生涯学習活動センター		
カノラホール	24-1300	幸町8-1	子育て支援館こどものくに	24-8403	中央町1-11-1
ロマネット	27-6080	長地権現町4-1-24	生涯学習館	24-8404	
イルフ童画館	24-3319	中央町2-2-1	まゆみ園	22-1307	郷田2-1-55
テクノプラザおかや	21-7000	本町1-1-1	駅前自家用車整理場	24-5258	本町1-1
産業振興戦略室			駅前広場自転車駐車場		本町1-3
工業振興課			太鼓道場	22-6663	成田町1-8-25
諏訪湖ハイツ	24-2290	長地権現町4-11-50	湖北衛生センター	41-2322	辰野町大字辰野2520



作成：岡谷市総務部財政課

ご意見等ありましたら、お寄せください。

電話 0266-23-4811

FAX 0266-24-0689

E-mail zaisei@city.okaya.lg.jp